

第6章 都市基盤

- 21. 市街地整備
- 22. 都市交通
- 23. 道路
- 24. 上水道
- 25. 下水道
- 26. 河川・水路
- 27. 公園・緑地・緑道
- 28. 住宅

基本施策21 市街地整備

担当 都市政策課・区画整理課

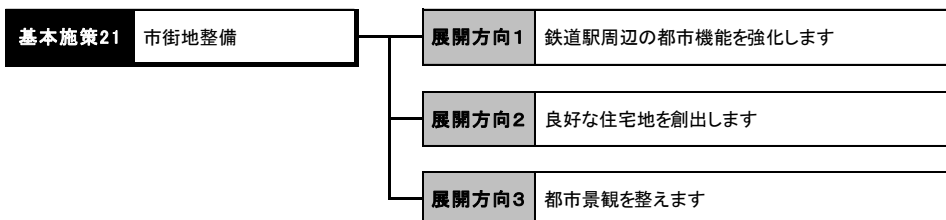
◆基本施策の目的

名鉄小牧線沿線を中心に、より多くの市民が便利で快適に暮らせる生活空間を確保するとともに、名鉄小牧駅周辺におけるまちの魅力を向上します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
小牧駅周辺が便利と思う市民の割合	%	32.3	30.1				↗
名鉄小牧線沿線居住率	%	56.5	56.9				↗
小牧市の景観について、好ましいと思う市民の割合	%	68.9	62.8				↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
69	田県神社前駅駅前整備事業 【都市政策課】	146,000	実施	⇒	⇒
70	小牧駅周辺整備事業 【都市政策課】	—(注16)	調整・検討	—(注17)	—(注17)
71	都市計画マスタープラン中間見直し事業(一般事務事業) 【都市政策課】	1,000	計画策定 (27年度～)		
72	立地適正化計画策定事業(一般事務事業) 【都市政策課】	12,400	計画策定 (27年度～)		
73	土地区画整理事業関連整備事業 【区画整理課】	134,000	実施	⇒	⇒
74	土地区画整理事業特別会計繰出金 【区画整理課】	2,995,000	実施	⇒	⇒

(注16)事業費欄を「—」としてある事業は、平成28年度に平成29年度以降の事業費を検討していくものです。

(注17)平成29年度・30年度の実施内容は、平成28年度の桃花台線小牧駅舎部の撤去後の小牧駅前広場等の整備について愛知県と調整を行い、検討した結果によります。

田県神社前駅駅前整備事業

都市建設部 都市政策課

1 予算額 139,901千円

2 目的及び効果 小牧駅に次ぐ乗降客を有する田県神社前駅について、駅前広場や市道布袋内津線の歩道などの整備を図ることにより、駅へのアクセス性が向上するとともに、駅利用者の交通安全を確保できます。

3 事業概要

市道布袋内津線の北側に歩道を整備するとともに、市が所有する未利用地を活用しながら、事業区域内に駅前広場や道路などの整備を行います。

平成28年度は、駅前広場(約4,600㎡)の整備を行い、供用開始を予定しています。



都市計画マスタープラン中間見直し

立地適正化計画策定事業

都市建設部 都市政策課

- 1 事業年度 平成27年度～28年度
- 2 予算額 都市計画マスタープラン中間見直し事業 1,000千円
立地適正化計画策定事業 12,400千円
- 3 目的及び効果 人口減少及び高齢化等の課題に対応するため、持続可能なコンパクトなまちづくりを進めていきます。
- 4 事業概要 都市計画の総合的な指針となる都市計画マスタープラン(平成22年3月策定)の中間見直しを行います。
また、この見直しとあわせて、都市全体の観点から、居住機能や医療・福祉、教育文化等の都市機能の立地、公共交通の充実にに関する包括的なマスタープランである「立地適正化計画」を策定します。

基本施策22 都市交通

担当 都市政策課

◆基本施策の目的

各種の公共交通機関が有機的に連携するとともに、より多くの市民が自ら進んで利用することにより、持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
小牧市の公共交通に満足している市民の割合	%	37.2	39.6				↗
公共交通機関の1日平均利用者数	人	37,078	38,654				↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
75	地域公共交通網形成 計画策定事業(公共交通 利用促進事業) 【都市政策課】	31,500	計画策定	⇒	
76	こまき巡回バス運行事 業 【都市政策課】	990,000	拡充実施	⇒	⇒

◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
77	小牧口駅バリアフリー 化事業(公共交通利用 促進事業) 【都市政策課】	250,000		工事	

新規

地域公共交通網形成計画策定事業

都市建設部 都市政策課

- 1 事業年度 平成28年度～平成29年度
- 2 予算額 26,000千円(債務負担行為 5,500千円)
- 3 目的及び効果 都市計画マスタープランにおける将来都市構造や立地適正化計画における都市機能の立地などを踏まえ、まちづくりと連携した持続可能な公共交通網を形成していきます。
- 4 事業概要 公共交通の現状整理や各種ニーズの把握を行い、協議会を設置し、交通事業者等との協議のうえで、地域にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにするマスタープランとして「地域公共交通網形成計画」を策定します。



拡充

こまき巡回バス運行事業

都市建設部 都市政策課

1 予算額 336,631千円

2 目的及び効果 交通空白地域のモビリティ向上、公共施設へのアクセスの確保のため巡回バスを運行することにより、公共交通の利便性が向上するとともに、温室効果ガスの排出削減による環境の保護、道路渋滞の緩和などを図ります。

3 事業概要

・平成28年4月の北部、東部地区の再編により、2か年にわたる再編が完了し、市内全域において、利便性の高い運行を実現します。(南部、中部、西部及び北里地区は、平成27年4月に再編を行いました。)

・市内全域19コースを18台で運行します。

〔 車両：小型ノンステップバス(乗客定員35名) 11台
ワンボックスバス(乗客定員8名又は10名) 7台 〕

・全てのコースが1時間に1本程度の運行となります。

・各居住地から半径500m以内にバス停(民間路線バスのバス停を含む)を設置します。



基本施策23 道路

担当 道路課

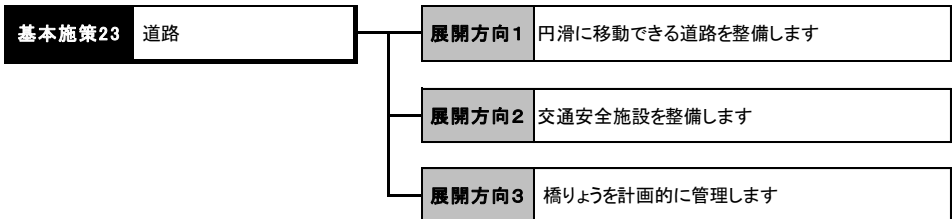
◆基本施策の目的

歩行者、自転車、自動車など道路を利用するすべての人々が、安全・快適で円滑に移動できる道路空間を確保します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
安全・快適で円滑に移動できる道路空間が確保できていると思う市民の割合	%	41.7	44.4				↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
78	道路新設改良事業 【道路課】	1,122,300	実施	⇒	⇒
79	街路新設改良事業 【道路課】	867,000	実施	⇒	⇒

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
80	交通安全施設整備事業 【道路課】	406,700	実施	⇒	⇒
81	橋りょう新設改良事業 【道路課】	368,600	実施	⇒	⇒

道路整備事業

都市建設部 道路課

1 予算額 921,850千円

2 目的及び効果 生活環境に配慮した人にやさしい道路を整備し、歩行者や自転車が安全に通行できるようになります。

3 事業概要

○道路新設改良事業 640,500千円

○道路舗装新設事業 20,000千円

○道路側溝新設事業 70,000千円

○街路新設改良事業 191,350千円

北西部地区道路整備(市道小塚山1号線)事業状況写真



(着手前)



(完了)

交通安全施設整備事業

都市建設部 道路課

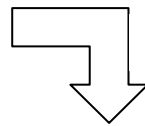
1 予算額 148,100千円

2 目的及び効果 交差点改良、歩道設置等の交通安全に寄与する施設の整備を行うことで、交通事故が減少し、安全・安心なまちづくりを推進することができます。

市道間々本町17号線交通安全施設整備事業整備状況写真



(着手前)



歩車道の分離



(完了)

基本施策24 上水道

担当 料金課・水道課

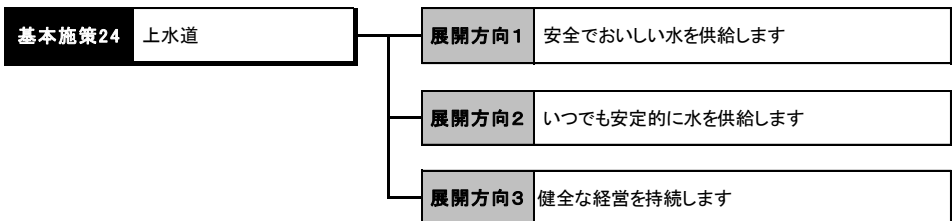
◆基本施策の目的

市民の暮らしや企業活動を支えるため、将来にわたって安全で安心な水道水を安定的に供給します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す 方向性
断水を伴う突発的な漏水事故件数	件	7	7				↓
安全でおいしい水と思う市民の割合	%	80.1	81.1				↑

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
82	小牧市水道事業会計 繰出金 【料金課・水道課】	450,000	実施	⇒	⇒

基本施策25 下水道

担当 下水道課

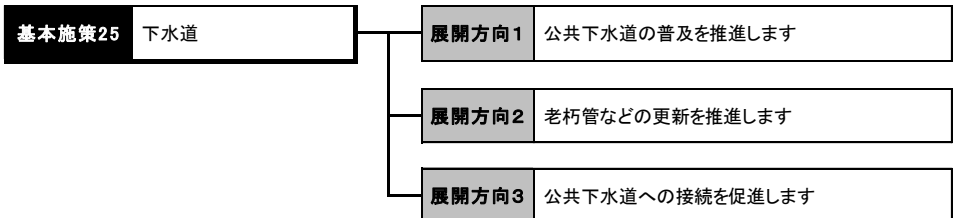
◆基本施策の目的

河川や水路などの公共用水域の水質保全を図り、良好な都市環境および水環境を創出し、市民の衛生的で快適な生活環境を確保します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
公共下水道接続率	%	64.0	65.8				↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
83	小牧市公共下水道事業特別会計繰出金 【下水道課】	4,559,000	実施	⇒	⇒
84	小牧市農業集落排水事業特別会計繰出金 【下水道課】	166,000	実施	⇒	⇒

基本施策26 河川・水路

担当 河川課

◆基本施策の目的

水害が起こりにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に抑制し、市民の貴重な生命と財産を守ります。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
床上浸水の被害戸数	戸	0	0				0

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
85	河川水路整備事業 【河川課】	515,100	実施	⇒	⇒
86	雨水対策事業 【河川課】	161,000	実施	⇒	⇒

地域の水害対策事業

都市建設部 河川課

- 1 予算額 595,083千円
- 2 目的及び効果 降雨を速やかに流下・排水できるように河川水路の整備を行うとともに、短時間での豪雨などに備え、一時的に雨水を貯留する施設の整備を行うことにより、水害が起りにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に抑制することができます。
- 3 事業概要
- 河川水路整備事業 441,742千円
野口区水路整備事業、道木川整備事業、手越排水路整備事業、新濃尾土地改良関連整備事業、小針川整備事業等
 - 雨水対策事業 124,000千円
双葉公園雨水貯留施設整備事業
 - 公共補償事業 29,341千円
一級河川原川

平成27年度施工



河川水路整備事業
(道木川整備事業)

基本施策27 公園・緑地・緑道

担当 みどり公園課

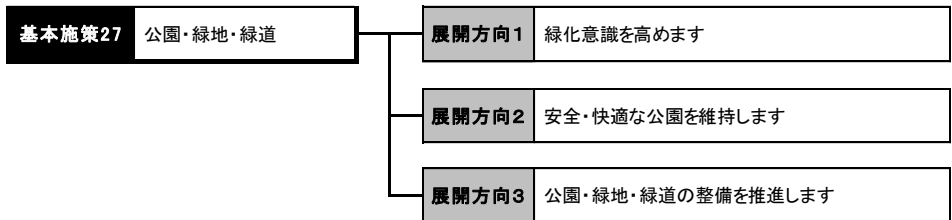
◆基本施策の目的

市民がより多くの緑と身近にふれあい、うるおいや安らぎを感じることができる、緑豊かな美しいまちを創造します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
緑が豊かなまちと思う市民の割合	%	73.0	77.0				↗
緑の創出面積	m ²	7,396	19,398				↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
87	小牧市スポーツ公園改修事業(公園緑地施設改修事業) 【みどり公園課】	150,000	実施		

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
88	橋りょう補修事業(公園 緑地施設改修事業) 【みどり公園課】	83,000	実施	⇒	⇒
89	緑のネットワーク整備事 業 【みどり公園課】	66,000	実施	⇒	⇒
90	公園緑地施設整備事 業 【みどり公園課】	702,295	実施	⇒	⇒

小牧市スポーツ公園改修事業

都市建設部 みどり公園課

1 予算額 150,000千円

2 目的及び効果 サッカーグラウンドは、市民大会やACミランサッカースクールが開催されるなど、多くの市民が利用していますが、平成18年4月のオープンから10年が経過しようとしており、人工芝に磨耗などの損傷が見られます。

そのため、人工芝を張り替えることでサッカーグラウンドを再生し、引き続き安全で快適な施設として利用することができるよう改修を行います。

3 事業概要 サッカーグラウンド人工芝改修工事
人工芝張り替え 9,180㎡



緑のネットワーク整備事業

都市建設部 みどり公園課

1 予 算 額 28,100千円

2 目的及び効果 合瀬川・境川の河川管理用通路を利用し、地域住民が安全で快適に散策やジョギングができるように整備をすることで、健康・体づくりや、災害時の避難路として利用することができます。

3 事業概要

	合瀬川緑道	境川緑道
事業年度	平成9年度～	平成19年度～
予 算 額	13,000千円	15,100千円
整備区間 延 長	犬山市境～北名古屋市境 約7.1km	大口町境～新小木二丁目 約4.8km
事業内容	整備工事(L=140m)	整備工事(L=130m)
進捗状況 (H27年度末)	54.9% (3,899m)	9.1% (437m)

合瀬川緑道



公園緑地施設整備事業

都市建設部 みどり公園課

1 予 算 額 278,548千円(債務負担行為 183,600千円)

2 目 的 公園の適正配置に努めるとともに、緑の保全・創出、自然にふれあえる公園を整備改修し、市民に憩いの場を提供します。

3 事業概要

○主な都市公園等

	東前公園 小松寺区画整理	岩崎山公園 岩崎山前区画整理	浜井場公園 小牧南区画整理	小牧口西公園 小牧南区画整理
事業年度	平成26年度～ 平成28年度	平成14年度～	平成26年度～	平成28年度～
予算額	50,771千円	19,000千円	34,000千円	1,200千円
事業内容	整備工事 2,100㎡	整備工事 15,000㎡	整備工事 2,000㎡	基本設計 2,000㎡



	市之久田公園	市民四季の森駐車場	自才前公園
事業年度	平成26年度～	平成26年度～	平成26年度～
予算額 (債務負担行為)	36,577千円 (35,600千円)	12,000千円	— (148,000千円)
事業内容	用地購入 2,629㎡	実施設計 3,701㎡	用地購入 1,517㎡

○児童遊園(9か所施工) 予算額 125,000千円

経年劣化が進む児童遊園を、安全で安心して遊べる児童遊園とするため計画的に施設再整備を行います。



三ッ洲南公園
(平成26年度施工)



松陽台児童遊園
(平成27年度施工)

基本施策28 住宅

担当 建築課

◆基本施策の目的

市民が安全・安心で長く使い続けられる良質な住宅ストックの形成を図ります。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合	%	61.9	63.9				↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28年度	29年度	30年度
91	三世代同居・近居住宅支援事業 【建築課】	30,000	実施	⇒	⇒
92	耐震改修促進計画中間見直し事業(民間木造住宅耐震改修促進事業) 【建築課】	3,300	計画策定		

新規

三世代同居・近居住宅支援事業

都市建設部 建築課

1 予算額 10,000千円

2 目的及び効果 若年層の定住人口の増加、子育て世代の不安や負担を軽減することなどによって、活気のある住みよいまちづくりにつなげるため、子育て世帯が親の住む小牧市内に新たに三世代で同居もしくは近居することを支援します。

3 事業概要

三世代同居住宅支援補助金

子育て世帯が、小牧市で新たに“三世代同居”を始めるため、住宅の新築、購入(中古含む。)またはリフォームなどを行った際に、その経費の一部を補助します。

補助額:対象経費の1/2(上限60万円)

三世代近居住宅支援補助金

市外に居住していた子育て世帯が、小牧市で新たに“三世代近居”を始めるため、住宅の新築、購入(中古含む。)などを行った際に、その経費の一部を補助します。

補助額:対象経費(上限20万円)



